

公益財団法人東京都福祉保健財団

令和元年度第2回定時理事会 議事録

1. 日時 令和2年2月19日（水）18時00分～20時10分
2. 会場 小田急第一生命ビル 11階会議室
3. 現在の理事数 11名（定足数6名）
4. 出席理事 杉村 栄一、松川 桂子、井藤 英喜、柏女 霊峰、狩野 信夫  
村川 浩一、城所 真人、西岡 修、坂本 光敏  
出席監事 雲田 孝司  
欠席理事 宮崎 美砂子、小澤 温  
欠席監事 久保 豊子
5. 審議事項  
第1号議案 令和元年度予算の補正（専決処理）及び流用（専決処理）について  
第2号議案 公益目的事業の変更（統合）認定申請について  
第3号議案 令和2年度事業計画及び予算について  
第4号議案 公益財団法人東京都福祉保健財団処務規程の一部改正について  
第5号議案 評議員選定委員会委員（外部委員）の選定について
6. 報告事項  
報告事項1 令和元年度職務執行状況について  
報告事項2 評議員選定委員会の選定結果について
7. 出席状況及び議事録への記名・押印の確認

定刻となり開会に先立って、杉村理事長が挨拶を行った。続いて、山下経営部長から新たに事務局に就任した横手参事の紹介があり、横手参事が就任の挨拶を行った。続いて、山下経営部長により配布資料の確認及び定款第35条に基づき杉村理

事長が議長となることが確認された。続いて、杉村理事長が開会の宣言を行った。続いて、杉村理事長が事務局に対して出席状況の報告を求めた。これを受け、山下経営部長から、理事11名中9名の出席となり定款第36条第1項に規定された定足数6名を満たし本理事会は有効に成立することが報告された。続いて、杉村理事長により、定款37条の規定に基づき、杉村理事長、松川副理事長及び雲田監事が議事録に署名、押印することが確認され、議事の審議に入った。

## 8. 議事の経過及び結果について

### (1) 第1号議案「令和元年度予算の補正（専決処理）及び流用（専決処理）について」

杉村理事長からの指示により、山口事務局長が第1号議案「令和元年度予算の補正（専決処理）及び流用（専決処理）」について、議案及び別添の説明資料「令和元年度予算の補正（専決処理）及び流用（専決処理）の概要」を用いて説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなかった。

杉村理事長が第1号議案について表決を求めたところ、出席理事全員異議なく、原案どおり承認された。

### (2) 第2号議案 「公益目的事業の変更（統合）認定申請について」

杉村理事長からの指示により、山口事務局長が第2号議案「公益目的事業の変更（統合）認定申請」について議案及び別添の説明資料「公益目的事業の変更（統合）について」を用いて説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、村川理事から事業統合の前後における細目事業の異同について質問があった。これに対し、山口事務局長が、細

目事業の一部に名称変更があるほか、新たな考え方の下で事業体系を組み替えた旨の説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなかった。

杉村理事長が第2号議案について表決を求めたところ、出席理事全員異議なく、原案どおり承認された。

### (3) 第3号議案 「令和2年度事業計画及び予算について」

杉村理事長からの指示により、山口事務局長が第3号議案「令和2年度事業計画及び予算」について議案及び別添の説明資料「令和2年度事業計画及び予算（案）の概要」を用いて説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、坂本理事から、「東京都障害福祉サービス等職員宿舍借り上げ支援事業」に関し、避難所が要件とされていることで、障害福祉サービス事業者の多くが当事業の申請条件を満たしていない現状について説明があり、状況の改善について都に働きかけてほしいとの要望があった。これに対し、福井事業者支援部長から、事業者から同様の要望が上がってきている状況について説明があり、財団から都に対し、当該事業の申請条件の要件緩和について依頼していることについて説明を行った。また、避難所については、区市町村が指定を行っているため、財団から都に対し、区市町村への働きかけを依頼している旨の説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、井藤理事から、今後の自主事業の展開及び収支状況について質問があった。これに対し、山下経営部長が、今年度の収支見込や翌年度の繰越金の見込額などの説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、西岡理事から、「外国人介護従事者受入れ環境整備事業」に関し、事業者の外国人介護従事者の受入れ状況や今後の拡大傾向などについて説明があり、今後、財団に対し、適宜適切な対応及び

計画を立てるよう要望があった。また、「東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業」に関し、当該事業が普及しているとの意見があった。これに対し、小林人材養成部長が、「外国人介護従事者受け入れ環境整備事業」に関し、セミナー参加の状況や事例紹介事業者などの説明を行い、また、福井事業者支援部長から「東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業」の助成要件の緩和について、今後、事業者へ周知していくとの説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、柏女理事から、①「中期経営方針」と予算案との関係について、②「子供が輝く東京・応援事業」に関し、多胎児支援の助成対象項目について、③「福祉サービス第三者評価システム事業」に関し、保育施設の評価項目の見直しを含む次年度の評価項目の検討予定及び特別養子縁組民間あっせん機関の外部評価に対する財団の対応について、④「行政職員等研修」に関し、今後発足予定の特別区の児童相談所職員の受講の可否について、⑤「子育て支援員研修事業」に関し、研修受講後のフォローアップ等について、5点の質問があった。これに対し、山下経営部長が、「中期経営方針」の主な計画事業の状況や令和2年度予算案のポイントを提示しながら説明を行った。続いて、福井事業者支援部長が、「子供が輝く東京・応援事業」の助成対象について、多胎児支援は既存の助成対象項目の中で対応する旨の説明を行った。続いて、金久保福祉情報部長が、評価項目の見直しは優先順位に基づき実施しており、次年度は社会的養護関係施設の見直しを行うとの説明を行った。また、特別養子縁組民間あっせん機関に対する第三者評価機関の認証について、厚生労働省の専門官と情報交換を行い、都の社会的養護関係施設の認証評価機関に対して情報提供を行った結果、複数の都の評価機関が国の評価機関認証申し込みを行っているとの情報を得ている旨の説明を行った。続いて、横手参事が、「行政職員等研修」について、福祉事務所職員が対象であって、児童相談所の職員は当該研修の対象とはなっていない旨の説明を行った。これを受け、杉村理事長が、児童相談所の職

員に対する人材育成について、都の児童相談センターで実施している旨の補足説明を行った。また、松川副理事長が、新設される区の児童相談所の職員に対する人材育成については、都と区で連携して進めている旨の説明を行った。続いて、小林人材養成部長から、「子育て支援員研修事業」に関し、研修受講生に対して、その後の就労について、財団で昨年度に就職相談会、今年度には都において説明会や相談支援を実施しているなど説明を行った。また、城所理事から、保育園など現場の状況等について補足説明があった。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、村川理事から、①「外国人介護従事者受入れ環境整備等事業」に関し、福祉現場の人材不足について、②「福祉サービス第三者評価システム事業」に関し、当該事業の対象に保護施設が追加されたことにより、評価者の制度熟知について、特に利用者に精神疾患が多い点についての視点が重要であると考えるが、財団としてどう対応していくのか、③「新型肺炎」に関し、財団としてどのような対策ができるのかについて、3点の質問があった。これに対し、小林人材養成部長が、「外国人介護従事者受入れ環境整備等事業」に関し、国別の受入れ規模等に触れながら、都と連携をしつつ、研修手法による事業者支援に係る情報提供を進めて行く旨の説明を行った。続いて、金久保福祉情報部長から、次年度に新たに保護施設評価者研修を実施することとしており、研修カリキュラムの概要を紹介した上で、今後、理事の御意見も踏まえ、研修内容について検討していく旨の説明を行った。続いて、松川副理事長から、新型肺炎に関し、国と連携しつつ、対応を続けている状況について説明を行った。これに対し、西岡理事から福祉の現場での、マスクやアルコール消毒液不足の状況について説明があった。これを受け、杉村理事長から機材確保について説明を行った。また、松川副理事長が、国への働きかけや事業者への情報提供について説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなかった。

杉村理事長が第3号議案について表決を求めたところ、出席理事全員異議なく、原案どおり承認された。

(4) 第4号議案 「公益財団法人東京都福祉保健財団処務規程の一部改正について」

杉村理事長からの指示により、山口事務局長が第4号議案「公益財団法人東京都福祉保健財団処務規程の一部改正」について議案を用いて説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなかった。

杉村理事長が第4号議案について表決を求めたところ、出席理事全員異議なく、原案どおり承認された。

(5) 第5号議案 「評議員選定委員会委員(外部委員)の選定について」

杉村理事長からの指示により、山口事務局長が第5号議案「評議員選定委員会委員(外部委員)の選定」について議案を用いて説明を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなかった。

杉村理事長が第5号議案について表決を求めたところ、出席理事全員異議なく、原案どおり承認された。

(6) 報告事項1 「令和元年度職務執行状況について」

代表理事である杉村理事長が報告事項1「令和元年度職務執行状況」について報告を行った。

続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなく、質疑を終了した。

(7) 報告事項2 「評議員選定委員会の選定結果について」

杉村理事長からの指示により、山口事務局長が報告事項2「評議員選定委員会の選定結果」について報告を行った。

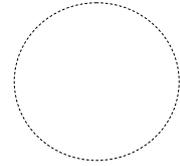
続いて、各理事等に対し意見を募ったところ、発言はなく、質疑を終了した。

杉村理事長は、本日予定していたすべての審議が終了したことを報告し、議事を終了した。

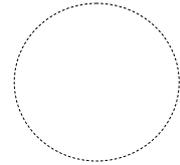
その後、杉村理事長が閉会を宣言して令和元年度第2回定時理事会を終了した。

議事録署名

理事長



副理事長



監事

